

# 使用上のご注意

## 保守・点検

乗車前には必ず下記の事項を点検・整備し、常に安全な状態で使用してください。

点検の結果、作動不良や違和感を感じたときは、すぐに使用を止め、お買上げの販売店または、最寄りの弊社支店、営業所へご連絡ください。

### ● 駆動輪の空気圧の確認

△注意	駆動輪の空気圧が少ないと、ブレーキがかからない場合や、かかりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。
-----	---

適正空気圧：7.0kgf/cm<sup>2</sup>  
(スリムタイヤの場合)

### ● 駐車用ブレーキの作動確認

ブレーキレバーを操作し、ブレーキがかかることを確認してください。

### ● 各調節部分が固定されていることの確認

各調節部分をチェックし、確実に固定されていることを確認してください。

## お手入れ・保管について

### ● フレームのお手入れ

- ・フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
- ・水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。
- ・錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。

### ● シートのお手入れ

- ・シートが汚れた場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取った後、水で濡らした布で洗剤を拭き取り、乾かしてご使用ください。
- ・面ファスナーに糸くず、汚れ等が付いた際は、接着が弱くなりますので取り除いてください。

### ● 消耗品、交換部品の確認

△注意	交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。
-----	---

それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。  
新しい部品に交換する際は、お買上げの販売店へご連絡ください。

#### 消耗品・交換部品

品名	交換時期
駆動輪	タイヤの表面に溝がなくなったとき。
キャスト	表面の摩耗が著しいとき。しっかり締め付けても車輪ががたつくとき。
シート	ほつれ、切れ目が発生したとき。 ひどく汚れたとき。 面ファスナーの接着が弱くなったとき。

### ● アームサポート、グリップ等の樹脂部品のお手入れ

樹脂部品の汚れは中性洗剤で落としてください。

△注意	シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。
-----	---

### ● 保管・収納について

- ・収納スペースが少ないときは、座シート、バックサポートを折りたたんで保管してください。
- ・錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の高い場所や室温の上がる場所には保管しないでください。

車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元

Wheel Chair  
**Miki**  
株式会社 ミキ

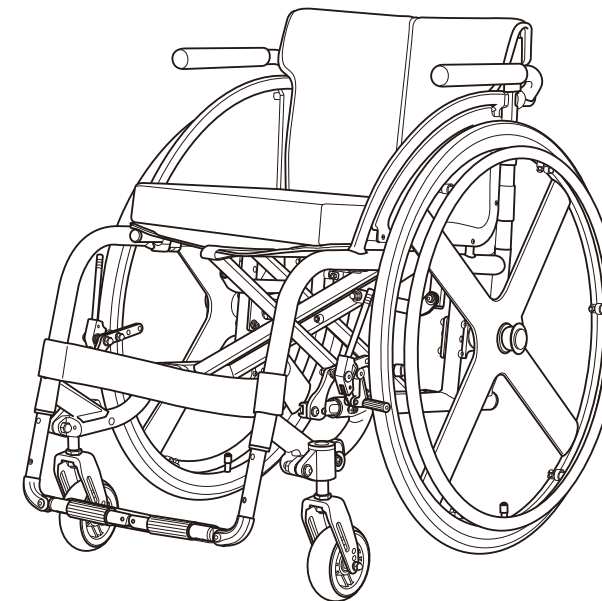
〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

1912-004NVQ

ノーヴァ クワトロ イニシャル ジー イニシャル エス

# NOVA IV *initial G / initial S*

## 取扱説明書



## はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

## 目次

本製品について	2
安全上のご注意	2
おもな機能と特長	4
各部のなまえ	4
使いかた	5
車いすの開きかた	5
乗り降りのしかた	5
駆動輪の取外し・取付け	5
走行上のご注意	6
車いすの持ち上げかた	6
車いすのたたみかた	6
フットブレーキの使いかた	7
各部の調節のしかた	7
駐車用ブレーキの調節	7
座面の高さおよび駆動輪の前後位置調節	8
フットサポートの高さ調節	10
バックサポート(背もたれ)の張り具合調節	10
転倒防止装置の格納	11
転倒防止装置のクリアランス調節	11
使用上のご注意	裏表紙

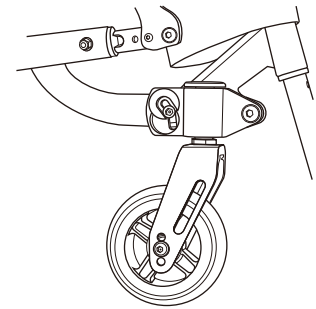
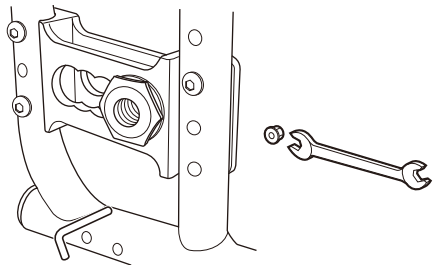
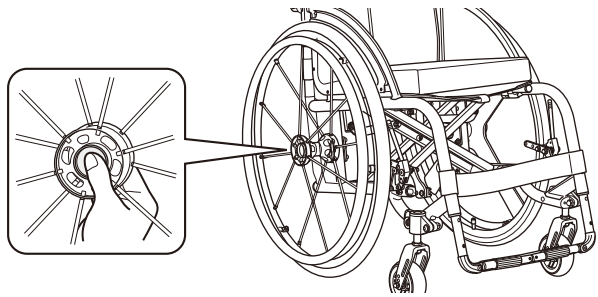
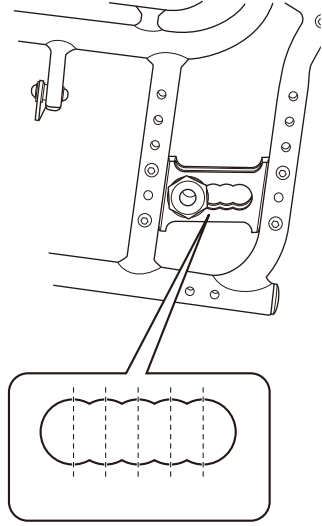
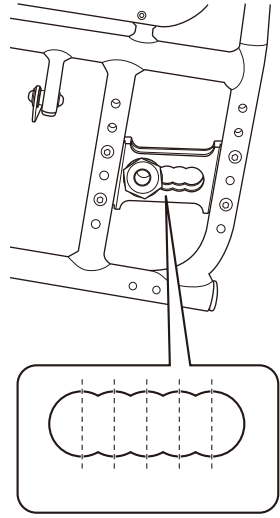
※本書で使用しているイラストは、ご購入いただいた製品と異なる場合があります。











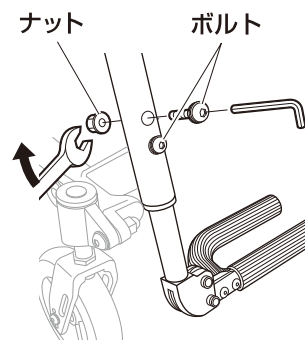
## フットサポートの高さ調節

使用者に合わせて、フットサポートを適切な高さに調節してください。調節は、フットサポートインナーパイプ上の高さ調節用穴（6箇所）へのボルトの取付位置を変えることで行います。

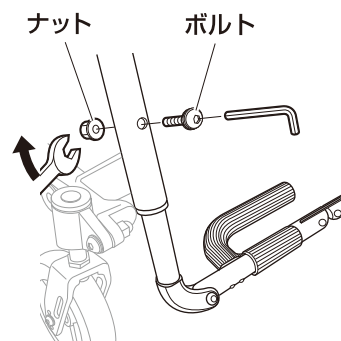
\* フットサポートは左右とも同じ高さに調節してください。

- 1 駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 上側のボルトの頭をレンチで固定しながら、反対側のナットをスパナなどで回して外し、ボルトを取り外します。下側のボルトは、レンチでゆるめて取り外します。

セパレートフットサポート

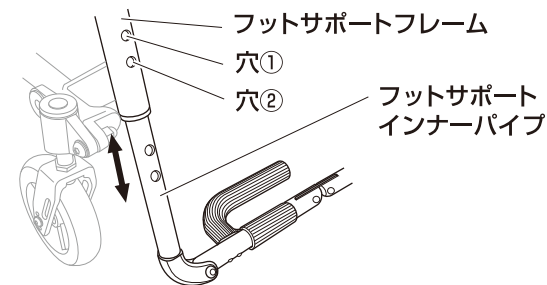


ジョイントフットサポート



\* セパレートフットサポートの場合はボルト2本、ジョイントフットサポートの場合はボルト1本を外します。

- 3 フットサポートを適切な高さに調節し、ボルトを通す穴を決めます。



- 4 フットサポートフレームの穴①から手順3で決めた穴に、ボルトを通します。

- 5 ボルトの頭をレンチで固定しながら、反対側のナットを締め付けて固定します。

\* セパレートフットサポートの場合は、穴②にもボルトを取り付けます。

- 6 もう片方のフットサポートも同じ高さに調整します。

\* フットサポートがしっかり固定されていることを確認してください。

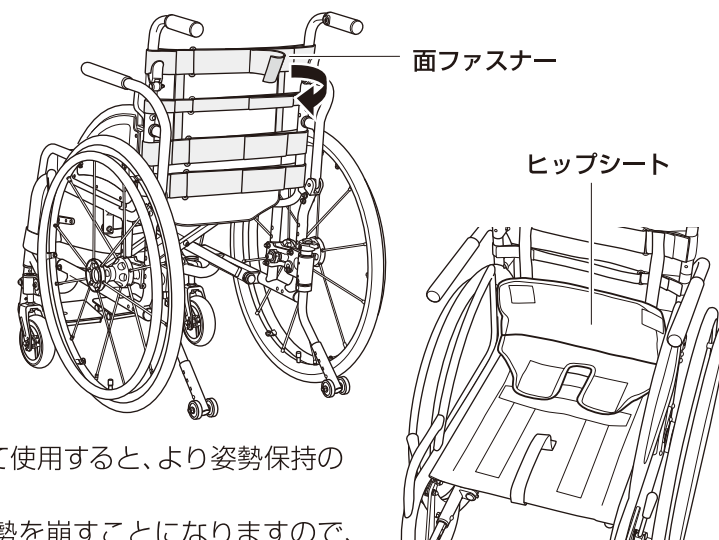
## バックサポート（背もたれ）の張り具合調節

バックサポートにはテンション式背シートを装備しております。テンション式背シートの張り具合を適切に調節することにより、バックサポートが使用者の体にフィットし、疲れにくく安定した姿勢を保つことができます。

\* 調節は使用者を乗せた状態で行ってください。  
\* 背アウターシートを外して調節を行うと、効果を確認しやすくなります。

- 1 駐車用ブレーキレバーを引いて、両輪のブレーキをかけます。
- 2 下から上の順に、ベルトの面ファスナーを貼り直してベルトの張り具合を調節します。ヒップシートの張り具合も同様に調節します。

\* アンカーサポート機能のついたクッションと合わせて使用すると、より姿勢保持の効果が得られやすくなります。  
\* 過度の調節（ゆるめすぎ、締めすぎ）はかえって姿勢を崩すこととなりますので、十分注意して行ってください。  
\* リハビリセラピストまたは販売員のアドバイスを受けられることをお奨めします。

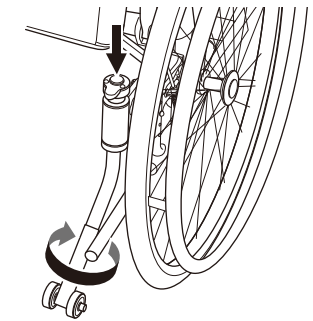


## 転倒防止装置の格納

オフ  
シジョン

転倒防止装置の旋回軸上面を押し下げながら、内側に回し込んでロックさせます。

\* 使用する際は転倒防止装置を手前に引き出しロックされていることを確認してお使いください。



## 転倒防止装置のクリアランス調節

オフ  
シジョン

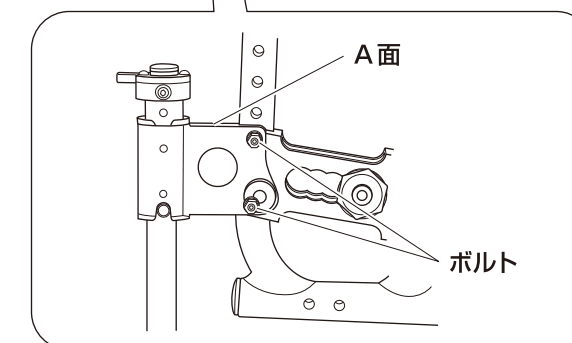
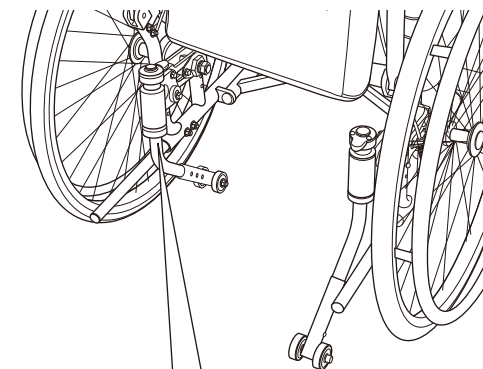
転倒防止装置と地面とのクリアランスを調節することができます。

\* 座面の高さを変えたときは、必ず転倒防止装置のクリアランス調節を行ってください。

\* 転倒防止装置は左右とも地面とのクリアランスが同じになるように調節してください。

## 取付角度の調節

- 1 車軸ブラケット後方のボルト（2本）をレンチとスパナを使用してゆるめます。

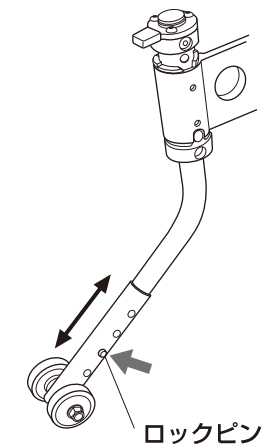


- 2 Aの面と床が平行になるように転倒防止装置の傾きを調節し、手順1でゆるめたボルト（2本）を増し締めします。

- 3 同様に反対側も調節します。

## クリアランスの調節

- 1 ロックピンを指で押し込み、転倒防止装置を前後にスライドさせて適切な位置に調節して、固定する穴を決めます。



- 2 手順1で決めた穴にロックピンを固定し、確実に固定されたことを確認します。

- 3 もう片方の転倒防止装置も同じ位置に調整します。